# 議　　題

**防災関係部課長会議**

**議題１　「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対策ガイドライン」への対応と今後の予定について（豊橋市提出）**

【要旨】

政府は、「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対策ガイドライン」を本年 3 月 29 日に公表したところであるが、各市の対応と今後の予定等（スケジュールを含む。）について伺いたい。

**議題２　災害時における無人航空機（ドローン）による情報収集活動に関する協定について（春日井市提出）**

【要旨】

災害発生時において、行政は早期に被害状況の把握に努め、迅速かつ的確な情報収集を行い、その情報に基づいて、応援要請、早期の救助、復旧活動につなげることが求められます。現在、災害が発生した際、上空から災害現場の映像や画像などを撮影することができるドローンの活用が注目されており、当市においても、災害状況を迅速に把握することを可能とするドローンを取り扱っている団体との災害時応援協定の締結を検討しています。

このことにより、以下についてお聞きします。

（１）災害時応援協定の締結の有無

（２）締結「有」の場合は、締結先、時期（可能であれば協定書を御供与ください。）

（３）締結「無」の場合は、今後の予定

**議題３　液体ミルクの備蓄状況等について（小牧市提出）**

【要旨】

2018 年 8 月に厚生労働省が液体ミルクの国内販売を解禁する改正省令を施行したことにより、2019 年より国産液体ミルクの販売が開始されました。発災時に確保しにくい飲料水を使用することなく、衛生的に乳幼児へミルクを供給できる利点があることから防災備蓄品としての役割が期待されています。しかしながら、適切に扱わない場合、衛生的なリスクがあることや、粉ミルクに比べ高額となること、備蓄場所を多くとることなど考慮すべき点も多く、手放しで導入できるものではありません。

つきましては、各自治体におかれまして、液体ミルクの備蓄状況や検討状況についてご教示願います。

本市の状況としては、現状、小ロットでの備蓄を考えており、備蓄場所としては空調が効く市役所内や市民センターを想定しております。使用時におけるマニュアルなどは作成しておりません。

**議題４　避難行動要支援者制度を活用した訓練等について（日進市提出）**

【要旨】

本市では、新たに障害者手帳の交付を受けた方への案内の発送や民生委員さんの日常の見回りの際の呼びかけなどにより、避難行動要支援者名簿の更新を行っていますが、登録者数はここ数年 1,100 名程度に留まっております。各市において、新規登録者の呼びかけで効果のあった手段があればお教えください。

また、今年度、防災に積極的な市民グループの発案で避難行動要支援者を対象とした避難行動訓練の実施を計画していますが、各市において実施した訓練内容等ございましたらお教えください。

**議題５　警戒レベルの運用開始に伴う緊急速報メールの配信について（日進市提出）**

【要旨】

避難勧告等に関するガイドラインが改定され、警戒レベルの運用が開始されました。緊急速報メールの配信につきましては、警戒レベル３の避難準備・高齢者等避難開始からの配信が可能となっていますが、各市におきまして、どの警戒レベルから緊急速報メールの配信を行うか定めていればお教えください。

※　本市では、これまで緊急速報メールを配信する災害の経験がありませんが、警戒レベルの運用開始や市町村防災支援システムの導入等に伴い、緊急速報メールの配信基準を定めておきたいと考えております。また、緊急速報メールシステムの都合上、隣接した他市町村が緊急速報メールを配信する際に、市町村境界付近の住民も緊急速報メールを受信することがあるため、緊急速報メール配信の基準の把握や今後、県内で統一的な基準による配信を行うことができればとの趣旨によるものです。

**議題６　被災者台帳のシステムの導入状況について（春日井市提出）**

【要旨】

災害が発生した場合、被災者の援護を総合的かつ効果的に実施するための基礎となる台帳であり、災害対策基本法第 90 条の３第１項において、市町村長が作成することとなっております。

このことにより、以下について導入状況をお聞きします。

（１）導入の有無

（２）導入「有」の場合は、導入開始時期、導入費用、導入業者

（３）導入「無」の場合は、今後の予定

（例：来年度の予算に計上し令和２年度中に導入予定）